

◆子ども未来シンポジウム ～学校のあり方を考える～ を開催しました。

令和6年9月21日（土）、本町の学校の現状を情報提供し、本町の子どもたちにとって望ましい学校像について参加者の皆さまと共に考える機会とするため、町民会館にて「子ども未来シンポジウム ～学校のあり方を考える～」を開催したところ、約300人もの参加がありました。

シンポジウムは、2部構成で行いました。

第1部では、本年4月からスタートした「義務教育学校 大垣市立上石津学園」および「海津市立海津小学校」の校長先生より新たな学校づくりの現状について事例や取組について発表がありました。

第2部では、パネルディスカッションとして、養老町学校のあり方検討委員長である安田和夫氏をコーディネーターとして、5人のパネリストとともに養老町の未来の学校のあり方についてディスカッションしていただきました。本町の学校の現状を踏まえ、今、目の前の子どもたちのためにできることを考え、本町のめざす将来の学校像について、参加者の皆さまから意見や感想などもいただき、会場全体が一体となって考える有意義な会となりました。

今後はアンケート調査の実施などにより、幅広い世代の皆さまから意見をいただき、未来ある子どもたちが安心して楽しく期待感がもてる教育環境の構築を目指していきます。



第1部：「義務教育学校 大垣市立上石津学園」および「海津市立海津小学校」における新たな学校づくりの現状について校長先生より発表がありました。



第2部：養老町の未来の学校のあり方についてディスカッションしました。